

社会学部報

◇昭和50年11月26日 学部研究会 発表者 張光夫教授
「地域社会権力構造の分析枠組」

会員の新著

小関藤一郎教授「モンテスキューとルソー」(共訳) 法政大学出版局

倉田和四生教授「近隣住区論」(訳) 鹿島出版会

学会消息

◇日仏社会学会

1960年新しく日仏社会学会は発足したが、その後委員会の活躍があっただけで、学会活動は余り行ってこなかったが、今年から本格的に学会活動を行うことになった。その第一回大会は昭和50年11月5日東京の湯島会館(私学会館)で開催され4人の会員から発表があったが、午後これについて小関藤一郎教授は「フランス社会学とフランス社会」と題する講演を行った。

◇日本社会学会大会

第48回日本社会学会大会は昭和50年11月2日(日)3日(月)東京の成蹊大学で開催された。日本社会学会も今年は会員数が1,400人に達する大きな学会になったので、部会の数も10になってきた。本学からは第一日の産業・労働部門で万成博教授が「日本の工場における社会組織の画一性モデルの検討」について、ブラウン大学のマーシュ教授との共同研究の結果を報告したほか、小関藤一郎教授は第二日の階層・階級部門で司会をつとめた。なお、来年から社会学部に就任することに決定している海野道郎専任講師も社会心理部門で「偏見の研究」

I. 接触と偏見の関係、II. 偏見保存の因果構造について東京工業大学の鏡豊氏と共同発表を行った。

◇日本人口学会

昭和50年6月27日、28日の両日、関西大学において第27回日本人口学会が開催された。関西学院大学社会学部からは倉田和四生教授が出席し、シンポジウムにおいて「人口と社会福祉」というテーマで発表をおこなった。

編集後記

財政状態の悪化にもかかわらず、昭和50年度も予定どおり、第31号、第32号の刊行ができたことは幸いであった。今年度の論文の数は昨年度と比べて余り減少してはいないが、全般的に最近普通会員からの原稿提出が減ってきている傾向にあるように思われるのが気がかりである。学会の機関紙や市販の雑誌にかかれる方も多いであろうが、この紀要への執筆に対してももっと関心を払っていただきたいものであると思う。普通会員の方々の積極的な御協力をお願いしたいと思う。

来年度も普通会員の会費負担を若干増額してもらい、月額1,200円とすることになった。昨今の物価上昇の趨勢にかんがみて御諒承をお願いする次第である。これとともに、来年度から原稿の中の図表の類で凸版にしなければならぬものについては凸版代とそれに要するトレース代の実費を執筆者にお願いすることになったので、あわせて御諒承を得たいと思う。(なおトレース代は、自分でトレースされる人からは頂きません)

なお最近「書評」の類が余り出てこなくなったが、若い会員からの投稿を歓迎したい。紀要の内容に多様性をもたせる意味から是非積極的な協力をお願いしたい。

(昭和51年2月)

関西学院大学社会学部研究会々則

第1条 本会は関西学院大学社会学部研究会とよぶ。

第2条 本会は社会学および隣接諸科学の研究ならびに会員相互の親睦を計ることを目的とする。

第3条 本会は上記の目的を達するために次の事業を行なう。

1. 機関誌「関西学院大学社会学部紀要」の発行。
2. 研究会および講演会の開催。
3. 研究叢書の刊行。
4. その他本会の必要と認める事業。

第4条 本会の会員は次の3種とする。

1. 名誉会員 本会の特に推薦するもの。
2. 普通会員 本学社会学部専任の教授，助教授，講師，および助手。
3. 賛助会員 以上の外申込のあったもの。

第5条 普通会員は年額12,000円，賛助会員は年額1,000円以上の会費を納めなければならない。納付済の会費は返還しない。

第6条 本会員および本会社会学部学生は機関誌の配布を受ける。学生の購読費は年額1,000円とする。

第7条 本会に次の役員をおく。

1. 会長（1名）は，社会学部長をもってあてる。
2. 評議員（6名）は，普通会員の中から互選し，本会の運営に当る。
3. 編集，会計，庶務の各委員は，評議員の中から互選する。
4. 会計監査（2名）は，普通会員の中から互選する。
5. 書記は，社会学部事務長に委嘱する。

第8条 本会役員の任期は2年とする。重任を妨げない。

第9条 本会会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。予算決算は総会の承認を得なければならない。

第10条 総会は毎年1回とし，本会の重要事項を議決する。臨時総会の開催を妨げない。

第11条 本会は事務所を本学社会学部におく。

第12条 本会会則の変更は総会の議決によらなければならない。

執筆 者 紹 介 (掲載順)

小 関 藤 一 郎	社 会 学 部 教 授	清 水 由 文	社 会 学 部 大 学 院 生
倉 田 和 四 生	社 会 学 部 教 授	奥 田 い さ よ	社 会 学 部 大 学 院 生
嶋 田 津 矢 子	社 会 学 部 教 授	川 田 誉 音	社 会 学 部 大 学 院 生
高 田 真 治	社 会 学 部 専 任 講 師	元 浜 涼 一 郎	社 会 学 部 大 学 院 生
船 本 弘 毅	社 会 学 部 助 教 授		

社 会 学 部 研 究 会 々 員

会 長	萬 成 博		
評 議 員	小 関 藤 一 郎	倉 田 和 四 生	宮 田 満 雄
	紺 田 千 登 史	真 鍋 一 史	高 田 真 治
会 計 監 査	牧 正 英	津 金 沢 聡 広	
書 記	藤 田 耕 一		
普 通 会 員	杉 原 方	余 田 博 通	田 中 國 夫
	西 尾 朗	定 平 元 四 良	嶋 田 津 矢 子
	領 家 稷	山 中 良 知	本 出 祐 之
	杉 山 貞 夫	半 田 一 吉	武 田 建
	青 山 秀 夫	遠 藤 惣 一	佐々木 薫
	森 川 甫	中 野 秀 一 郎	張 光 夫
	中 山 慶 一 郎	J・シ ョ イ ス	船 本 弘 毅
	春 名 純 人	村 川 満	山 本 武 利
	山 路 勝 彦		

1976年3月10日 印刷

1976年3月15日 発行

編集発行人 萬 成 博

印刷所 ともゑ美術工芸社
西宮市仁川五ヶ山町2-20
電話(0798) 51-5 1 8 6

発行所 関西学院大学社会学部研究会
西宮市上ヶ原一番町
関西学院大学社会学部内
電話(0798) (51) 0912(代表)
(51) 3512(直通)

KWANSEI GAKUIN

SOCIOLOGY DEPARTMENT STUDIES

(SHAKAIGAKUBU-KIYO, KWANSEI GAKUIN DAIGAKU)

No. 32

March 1976

The Study Association of Sociologie Department

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

Nishinomiya, Japan
